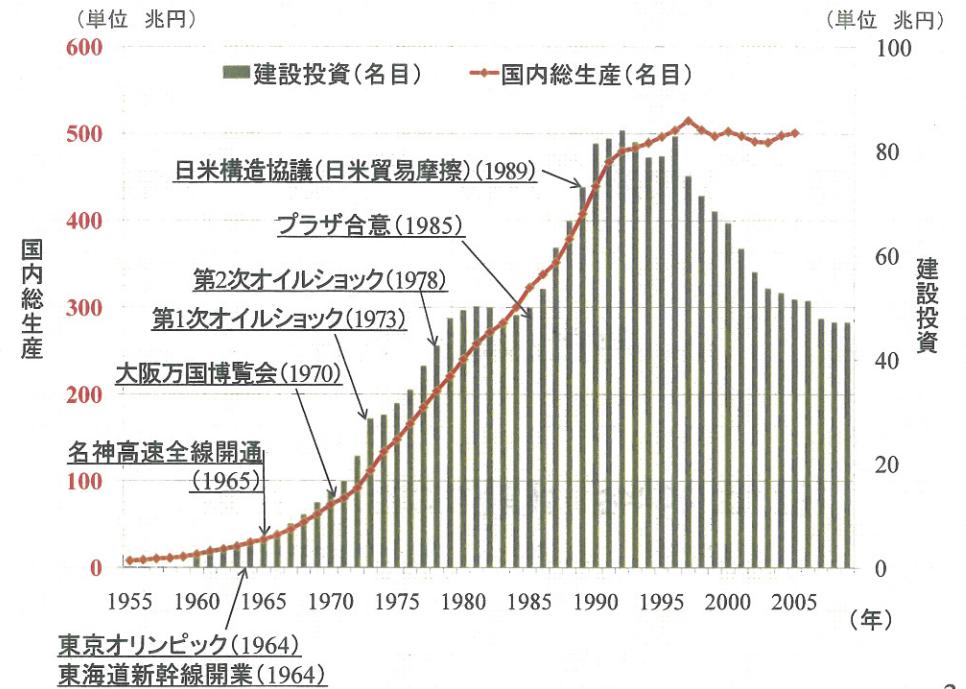


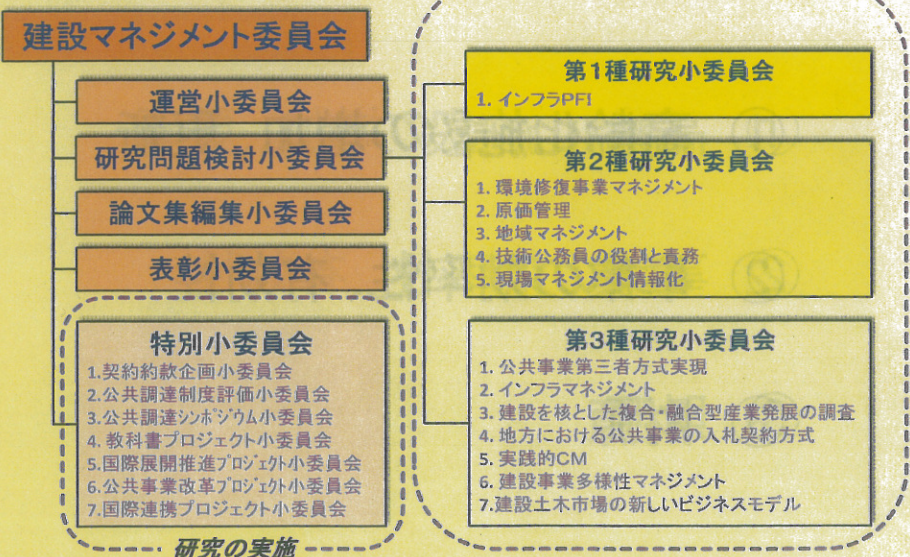
# 公共調達制度の現状と課題

平成23年2月15日

(社)土木学会 建設マネジメント委員会  
委員長 小澤一雅(東京大学)



## 【委員会の組織構成】



## インフラ事業が抱える課題

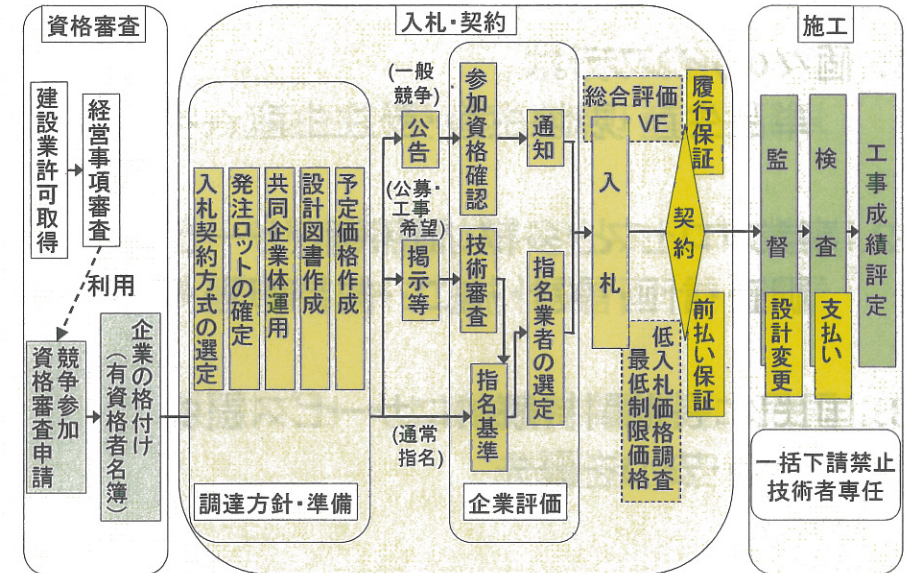
- ① 高齢化施設の増加、更新
- ② 事業の効率性、有効性
- ③ 財源

## インフラ事業の特徴

1. 個々のインフラは、  
単品生産・現地生産・受注生産(←物品)
2. 事業プロセスと多様な関係者(サービス)  
調査・計画・設計・施工・維持管理・修繕
3. 国民に長期間持続的にサービス提供  
安全・安心を優先

5

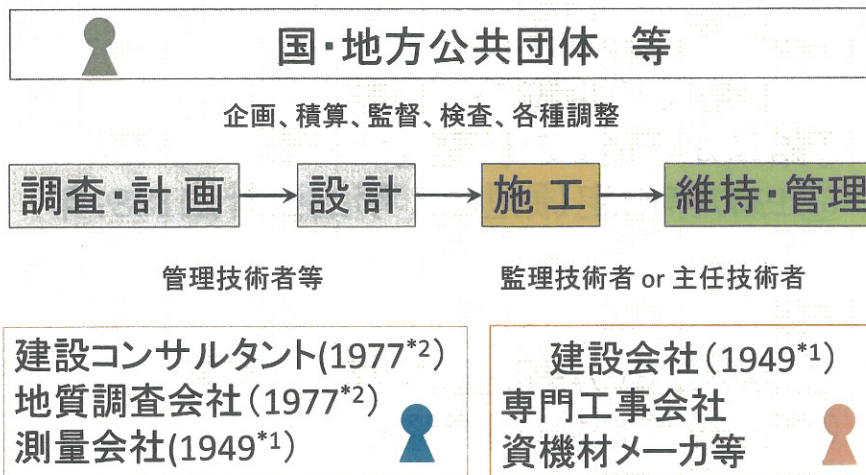
## 公共工事における入札契約の流れ



7

## インフラ事業と関係者

時代と共に、インハウス技術者と民間企業の役割が変化



\*1 業法の制定、 \*2 登録規定の制定

6

## インフラ事業における調達制度

### 会計法(地方自治法)

- ①入札・契約手続きの基本
- ②鉛筆からインフラ(建設サービス)まで
- ③1947年制定(原型は、明治会計法1889年)

### 建設業法

- ①建設工事の請負契約の適正化等
- ②標準契約約款(中建審)
- ③1947年制定

8

# 我が国の公共調達制度の再構築

国民(利用者、納税者、地域住民)の視点から

## 賢い・上手な インフラ(建設サービス)の購入方法 (公共サービスの提供方法) を再考する

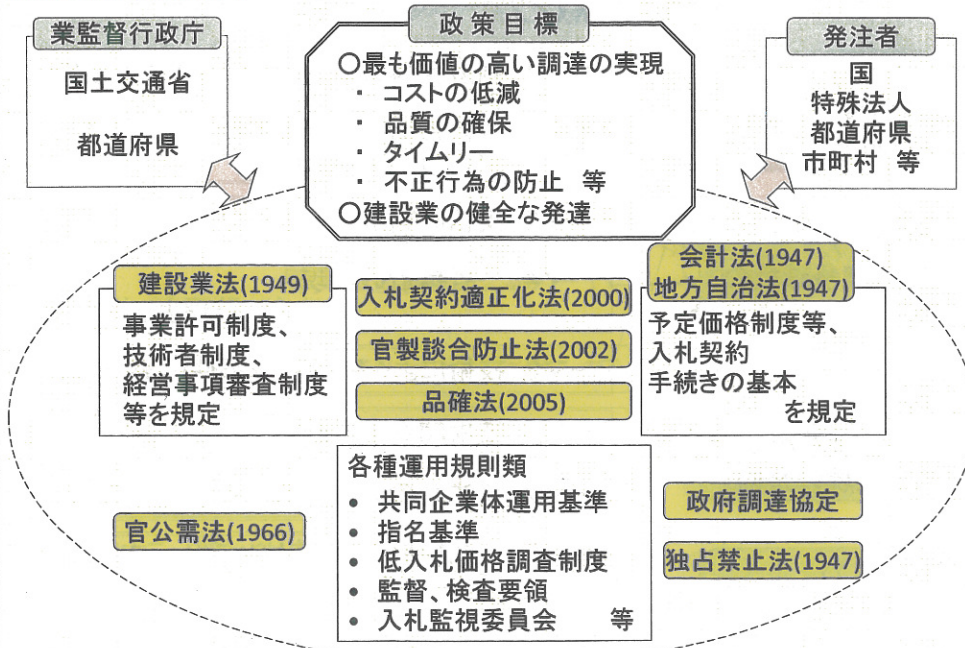
# 公共調達制度を考える

～土木技術者の信頼回復を目指して～

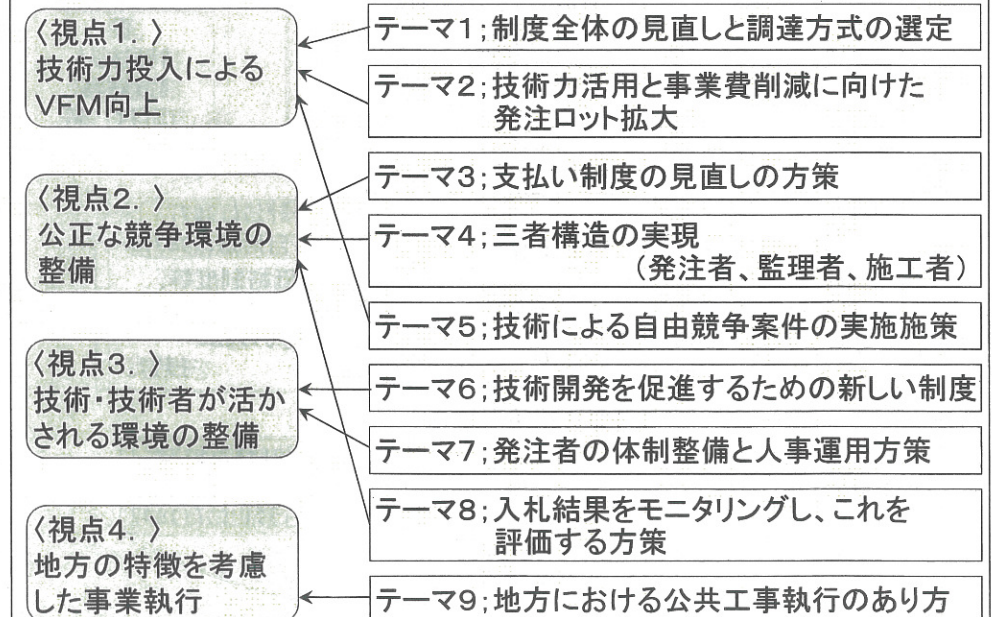
2006年4月

社団法人 土木学会  
建設マネジメント委員会  
公共調達制度WG

### 入札契約に係る諸法令



### 各視点とテーマの関係



## 建設マネジメントシンポジウム「公共調達制度を考えるシリーズ」

平成19年 6月22日(金)	第 1回	総合評価方式について
平成19年 7月13日(金)	第 2回	制度模索のための入札結果モニタリングについて
平成19年 8月31日(金)	第 3回	三者構造とCM方式について
平成19年 9月27日(木)	第 4回	発注ロットと共同企業体制度について
平成19年10月18日(木)	第 5回	技術の開発・調達について
平成19年11月16日(金)	第 6回	契約制度の多様化について
平成19年12月21日(金)	第 7回	予定価格制度について
平成20年 1月18日(金)	第 8回	コンサルタント業務の調達について
平成20年 2月29日(金)	第 9回	出来高部分払い方式の導入について
平成20年 3月28日(金)	第10回	地方における公共工事執行のあり方について
平成20年 4月18日(金)	第11回	公共調達方式の国際比較
平成20年 5月23日(金)	第12回	全体討論

建設マネジメント委員会HP; <http://www.jsce.or.jp/committee/cmc/>

13

## 土木学会で取組むこと(提案)

1. 契約約款の作成・発刊
2. 公共調達シンポジウムの継続的实施  
(1回/年)
3. 調達結果のモニタリングと制度の評価

15



公共調達制度  
研究小委員会  
(2008年5月)

14

## 公共調達制度の再構築

- ①法制度の見直し;  
会計法(地方自治法)、官公需法 等
- ②予算制度の見直し;(財政法)  
複数年度予算と予算の管理方法 等
- ③体制の見直し;  
インハウスエンジニアの役割  
技術者個人を活かすしくみ 等

16

# 事業のマネジメント

- ①品質・コスト・時間の目標をトータルで達成するために最適な資源配分を行う諸活動
- ②目標(スコープ)管理とリスクマネジメント
- ③PDCAサイクル

17

# 人材育成

- ① Professional(専門家)の育成
- ② Project Manager(総合判断力)の育成
- ③ 国際的に活躍できる人材の育成
  - (a) OJTの見直し
  - (b) 暗黙知の形式知化
  - (c) 人材を活かすシステム

18



19

## 1. 背景と提言の視点

### なぜ提言か①

- 今後のアジア地域の発展は我が国の持続的な発展にとって必要不可欠、インフラ整備への積極的な貢献が求められている

### なぜ提言か②

- 建設産業の国際展開を積極的に進める政策が打ち出されようとしている

### なぜ提言か③

- 建設マネジメント委員会ではインフラ整備システムの改善方策等について研究を進めてきている

**チームジャパン:** 我が国で育んできた知恵や技を、それを支えているマネジメントシステムや伝統文化等の背景とともに、それらを保有する組織や人、全ての力の結集によって国際貢献を進めるべき

**Think Globally:** 地球規模の課題解決に貢献する立場で、我が国のインフラ整備システムの国際展開を進めるべき

**Act Locally:** 我が国の技術や仕組みの良さを活かしつつ、地域のニーズや環境条件に適合させるべく、徹底した現地化やそのための現地研究を推進すべき

20

### 国際展開推進プロジェクト

金融・保険制度、ODA 実施戦略、資金調達、人材育成プログラム、モデルプロジェクトの形成とその推進方策等の検討

### 公共事業改革プロジェクト

国際的手法から見た国内の公共調達方式、契約・建設生産・管理運営システム等、改革の方向性の検討

4つの特別小委員会による検討

### 国際連携プロジェクト

海外の実務者、研究者および組織との連携強化のための国内外情報受発信プラットフォーム構築方法の検討

### 契約約款企画

多様な建設サービスに対応する契約書・仕様書・適用すべき基準類等の整理と体系化

## 公共調達制度の課題

1. 硬直化した予算制度
2. 明治期から受け継いだ会計制度
3. 運用で対応する各種の新施策

→ 現場は？

## 公共調達制度の基本の見直し

## 公共事業改革プロジェクト小委員会提言（案）

1. 背景
2. インフラ整備の将来ビジョン
3. これからの公共事業の執行システム
4. 元気の出る国土づくりのための  
建設生産及び管理運営システムの提案
  - (1) 公共事業調達法の制定
  - (2) 事業手法と財源確保策
  - (3) 技術基準の国際標準化と戦略的国際展開
  - (4) その他

## 公共事業調達法の提案

1. 価値(VFM)の高い公共調達の実現を目的
2. 事業のマネジメントの概念を導入
  - a. 事業の特性に応じた契約方式を選択可能
  - b. 複数年度予算を活用した事業のマネジメント
  - c. 予定価格制度から事業予算の管理へ
  - d. リスク概念と時間管理概念の導入
  - e. 企業の選定方式の多様化と技術競争の導入
  - f. 監督業務の位置づけと技術者制度
  - g. 検査制度と監視機能